

特定生活関連施設整備項目表

第3 公園

施設の用途：	申請部分面積： m ²
施設主の氏名：	施設の名称：
施設の所在地：	
作成者の氏名：	（担当者） TEL - -

記入方法	<input type="checkbox"/> 「判定」の欄には、基礎基準の適否の判定を次の記号により記入のこと。 基準に適合する：「○」、基準に適合しない：「×」、該当事項がない：「/」
	<input type="checkbox"/> 「設計内容」の欄には、基準に合わせて設計内容を簡潔に記入し、必要な場合は図面等を添付すること。
	<input type="checkbox"/> 「※」の欄は記入しないこと。

整備箇所	整備基準の内容	判定	設計内容
1. 出入口の構造		出入口の適否【※】	
出入口の構造	ア 幅は、90 cm以上		幅： cm
1以上の出入口を適合させる。	イ 車いす使用者の通過に支障となる段の有無	有・無	段差： cm
2. 便所		便所の適否【※】	
(1) 車いす使用者用便所の設置	不特定多数の者が利用する便所の設置	有・無	■平面図に記載
不特定多数の者が利用する便所のうち1以上の便所に設置する。	ア 車いす使用者便房の数 (便房の床面積確保、腰掛便座・手すり等の適切な配置)		便房数：
男子用及び女子用の区分があるときは、それぞれ1以上設置する。	イ 車いす使用者用便房の出入口及び当該便房のある便所の出入口の幅は、内法80 cm以上		内法幅： cm
	ウ 車いす使用者便房の出入口及び当該便房の出入りに戸を設ける場合、車いす使用者が円滑に開閉して通過できる構造		
	エ 車いす使用者便房の出入口及び当該便房のある便所の出入口に、車いす使用者の通行に支障となる段の有無	有・無	段差： cm
	オ 車いす使用者用便房のある便所の出入口に、その旨を知らせる案内表示	有・無	
(2) 周囲に手すりのある床置き式の小便器の設置	不特定多数の者が利用する男子用小便器のある便所の設置	有・無	■平面図に記載
	周囲に手すりのある床置き式の小便器がある便所を1以上設置		設置数：
3 園路		園路の適否【※】	
1に定める構造の出入口に通ずる園路の構造	ア 幅員は、120 cm以上		幅員： cm
	イ 表面は、粗面又は滑りにくい材料		仕上材：
	ウ 園路を横断する排水溝等の構造		蓋仕様：
	エ 高低差がある場合、第1の3の(3)のイに定める構造の傾斜路及び踊場の設置		
	(7) 幅は、内法120 cm以上 (段を併設する場合は、90 cm以上)		内法幅： cm
	(i) 勾配は、1/12以下 (傾斜路の高さ16 cm以下の場合は、1/8以下)		勾配：
	(f) 踊場（踏幅150 cm以上）の設置 (高さ75 cm以内ごとに設置)		

	(e) 傾斜路の手すりの設置		
	(f) 壁のない傾斜路には、左右の縁端部に脱輪防止用の高さ 5 cm以上の立ち上がりを設ける。		立ち上がり： cm
	(g) 敷地内の通路に排水溝等を設ける場合の構造		蓋仕様：
	(h) 表面は、素面又は滑りにくい材料		仕上材：
	(i) 傾斜路は、その踊場及び当該傾斜路に接する敷地内の通路の色と明度の差の大きい色とすること等により識別しやすいものとする。		具体的に記載：
	オ 必要に応じて注意喚起床材の敷設		■配置図に記入
4 駐車場		駐車場の適否【※】	
車いす使用者用駐車場の設置	不特定多数の者が利用する駐車場の設置	有・無	■配置図に記入
	第1の8の(2)に定める構造の車いす使用者用駐車施設を1以上設置		
	ア 車いす使用者用駐車場施設へ通じる1に定める構造の外部出入口から当該車いす使用者用駐車施設に至る経路（(3)に定める構造の駐車場内の通路又は3の(1)～(3)に定める構造の敷地内通路を含むものに限る。）の距離ができるだけ短くなる位置に設置		■配置図に位置記入
	イ 幅は、350cm以上		幅： cm
	ウ 車いす使用者である旨を見やすい方法により表示		表示方法：
5 設置器具		設置器具の適否【※】	
設置器具の構造	ベンチ、水飲み場等は、車いす使用者が利用しやすいものとする。		
6 案内板		案内板の適否【※】	
案内板の構造	1に定める構造の出入口の付近に、次定める構造の案内板を設置		
	ア 案内板の高さ、文字の大きさ及び表示の配慮		高さ： 大きさ： 設置場所：
	イ 必要に応じて点字による表示		
	ウ 必要に応じて外国語による併記		